

忘羊社

四六判並製・256ページ

定価：1900円+税

ISBN978-4-907902-29-2

2022年6月新刊



筑後川流域の生活史

暴れ川と 生きる

Sawamiya Yu
澤宮優

書評が出ます!!

- ◎朝日新聞全国版 (7/16)
- ◎共同通信▶各地方紙 (7/9~)
- ◎東京新聞・中日新聞 (7月下旬)
- ◎日本経済新聞 (7月下旬)
- ◎西日本新聞 (6月25日)

豪雨災害の常襲地帯に学ぶ、 〈治水〉と〈共生〉の歴史。

「日本三大暴れ川」のひとつとして知られる大河・筑後川。
阿蘇・九重の源流から国内有数のクリーク地帯を経て
有明海に至るまで、川との闘いと共生を続けてきた
流域の歴史と文化を、10年余の歳月をかけて追った労作。

「筑後川は、阿蘇と九重を源流とする九州最大の河川である。…利根川、吉野川とともに暴れ川の三兄弟、とされている。だが近年筑後川ほど洪水を繰り返した川はない。…人々が水の脅威にどう対処して生きてきたかを知ることは、河川とともに生きる人々の暮らしを見つめなおすことでもある。…筑後川は、九州に限らず日本全国の河川とともに暮らす人々にとっても同じ問いを投げかけている」「(プロローグ)より)

澤宮優(さわみや ゆう)…ノンフィクション作家。1964年熊本県生まれ。スポーツから歴史、民俗、文学まで幅広く執筆。『巨人軍最強の捕手』(晶文社)で第14回ミズノスポーツライター賞優秀賞。著書に『イラストで見る昭和の消えた仕事図鑑』(角川ソフィア文庫)、『考古学エレジーの唄が聞こえる』(東海教育研究所)、『昭和の仕事』『集団就職』(ともに弦書房)、『戦国廃城紀行』(河出文庫)、『イップス』(KADOKAWA)『世紀の落球 「戦犯」と呼ばれた男たちのその後』(中央公論新社・第3回野球文化学会賞)『バッティングピッチャー』『昭和十八年 女の箱根駅伝』(ともに集英社文庫)など多数。

目次

第1章 暴れ川、筑紫次郎

第2章 [上流編] 急流と生きる

美林の郷、小国／青木牛之助と千町無田の開拓者たち／急流と生きる／室原知幸と蜂の巣城闘争／ダムって何だ池

第3章 [中流編] 大いなる沃野へ

水都日田と三隈川／100年スパンの災害学／筏流しのいた時代／大石堰は美談か／原鶴と昭和の大水害／山田堰とアフガニスタン／河童の里、田主丸／藩境と水争い／川は古戦場／宮入具と日本住血吸虫／筑後川と信仰

第4章 豪雨の爪痕

筑後川の水害史／西日本水害の記憶

第5章 [下流編] 有明の海とともに

筑後大堰と有明海／クリークのある風景／筑後川の“アオ”と城島酒／近代の黎明と筑後川／有明海異変池

書店さまへ▶FAXなどで出版社へ直接ご注文ください。小社書籍は「地方・小出版流通センター」「東京官書普及」経由で全国の書店さまへ送返品可能です

| | | | | |
|--|-----|--|-----|--|
| 番線 | 注文数 | 日付 | お名前 | |
| | 冊 | | 様 | 新刊(自然) 暴れ川と生きる ISBN978-4-907902-29-2 |
| | | | | 本体 1,900 円 + 税 |
|  ぼうようしゃ 忘羊社 | | 〒810-0074 福岡市中央区大手門1-7-18-901 ▶TEL 092 (406) 2036 ▶FAX 092 (406) 2093 | | |

★書籍の詳細は<http://bouyousha.com>でご覧いただけます